

障害福祉分野のロボット等導入支援事業に係る事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 岡崎市

【基本情報】

フリガナ	シヤカイフケンホウジン タツキフケンカイ
法人名	社会福祉法人 たつき福祉会
フリガナ	ショウガイインヤンセンセツ スカタノムラ
事業所名	障がい者支援施設 額田の村
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育児・休職は除く)】	
33人(30.4)	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数) マッスルスーツEvery(SMサイズ×1台、MLサイズ×2台)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間(C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	25人	90件	1,080件	10分	4,500人時間	7時間
	2 排泄介助・支援	25人	660件	7,920件	10分	33,000人時間	53時間
	3 生活自立支援(※1)	25人	120件	1,440件	10分	6,000人時間	10時間
	4 行動上の問題への対応(※2)			0件		0人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0件		0人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0件		0人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0件		0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0件		0人時間	#DIV/0!
			870件	10,440件	30分	43,500人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
 ※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
 ※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> B. ひと月当たり発生件数の算出方法

1、移動・移乗・体位変換=1人:約3回/日サービス提供×30日=約90件
2、排泄介助・支援=2人:約11回/日サービス提供×30日=約660件
3、生活自立支援=4人:約1回/日サービス提供×30日=約120件

<※2> D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

・データ収集期間(1/15~1/20)
1、移動・移乗・体位変換=対象サービスから対応時間を数十件抽出し、平均値を算出し計上
2、排泄介助・支援=対象サービスから対応時間を数十件抽出し、平均値を算出し計上
3、生活自立支援=対象サービスから対応時間を数十件抽出し、平均値を算出し計上

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間(C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	25人	90件	1,080件	9.5分	4,275人時間	7時間
	2 排泄介助・支援	25人	660件	7,920件	9.5分	31,350人時間	50時間
	3 生活自立支援(※1)	25人	120件	1,440件	9.5分	5,700人時間	9時間
	4 行動上の問題への対応(※2)			0件		0人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0件		0人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0件		0人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0件		0人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0件		0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0件		0人時間	#DIV/0!
			870件	10,440件	28.5分	41,325人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3> B. ひと月当たり発生件数の算出方法

1、移動・移乗・体位変換=1人:約3回/日サービス提供×30日=約90件
2、排泄介助・支援=2人:約11回/日サービス提供×30日=約660件
3、生活自立支援=4人:約1回/日サービス提供×30日=約120件

<※4> D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

・データ収集期間(2/16~3/17)
1、移動・移乗・体位変換=対象サービスから対応時間を数十件抽出し、平均値を算出し計上
2、排泄介助・支援=対象サービスから対応時間を数十件抽出し、平均値を算出し計上
3、生活自立支援=対象サービスから対応時間を数十件抽出し、平均値を算出し計上

年間業務時間数想定削減率(%)

5.0%

(3) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

・装着時間を加味すると大きな時間的削減には至らないが、職員の負担軽減や腰痛対策には効果がみられる。

--

(5)今後の課題

・施設が開設30年以上を経過し、利用者さんの高齢化や障がいの重度化による体力や機能の低下に直面している。また、人材確保が厳しい状況にあり、職員の高齢化も含め、利用者さんの介助の際の職員の体の負担や不安など介助事故に繋がるリスクが高まることが懸念される。

--

(6)気づき等について

・職員自身の体への不安を和らげることが、離職防止に繋がると感じます。

--

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--